

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要						
事業名	漁港漁場事業（漁港区域海岸改良事業）					
地区名	しのしまぎょうかいがん 篠島漁港海岸					
事業箇所	ちたぐんみなみちちちようおおあざしのしまちない 知多郡南知多町大字篠島地内					
事業のあらまし	<p>篠島漁港は知多半島南部の沖合に位置し、古くから漁業の本拠地として栄え、南知多地域の沖合、沿岸漁業の中心港となっている。</p> <p>篠島漁港海岸では、漁業活動の利便性を優先し、海岸保全施設が整備されていない箇所が存在するため、津波・高潮の襲来時には地盤高の低い背後集落が浸水する恐れがある。そのため、漁業関係者と調整の上、海岸保全施設の整備を行い、津波・高潮からの生命・財産の安全性の確保、被災の軽減を図る。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>海岸保全施設の整備による津波・高潮からの背後地の保全</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2013年度)	再評価時（1回目） (2018年度)	再評価時（2回目） (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2013～2017	2013～2027	2013～2027	変更なし	
	事業費（億円）	4.3億円	11.3億円	13.3億円	補償費の精査	
	経費内訳	工事費	3.4億円	10.4億円	10.4億円	変更なし
		用補費	0.9億円	0.9億円	2.9億円	補償費の精査
その他	—	—	—	—		
事業内容	胸壁 L=640m (T.P. +2.8m) 陸間 N=3 基	胸壁 L=640m (T.P. +4.0m) 陸間 N=6 基	胸壁 L=640m (T.P. +4.0m) 陸間 N=6 基	変更なし		
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>本海岸の一部箇所には、漁業活動の利便性を優先し、海岸保全施設が整備されていない箇所が存在するため、背後集落が津波・高潮に対して無防備な状況にある。そのため、早期に胸壁・陸間を整備し、津波・高潮から背後集落を保全する必要がある。</p> <p>【再評価時（1回目）の状況】</p> <p>依然として、津波・高潮に対して無防備な状況にある。さらに、2014年の設計津波高の変更（上昇）により、津波による浸水想定範囲が拡大した。このため、海岸保全施設の天端高を T.P. +2.8m から T.P. +4.0m へ変更するなど更なる対策が必要となっている。</p> <p>【再評価時（2回目）の状況】</p> <p>依然として、背後集落が津波・高潮に対して無防備な状況にあるため、引き続き胸壁・陸間を整備し、津波・高潮から背後集落を保全する必要がある。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>変動なし。</p>				

②事業の進捗状況及び見込み	判定	<p><b>B</b></p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。          B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。          C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。          ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p> <p>【理由】          算定要因に大きな変化がないため、前回評価時と同様に事業効果が発現される見通しである。</p>																																																																																																																																																																																																												
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2013</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">工事</td> <td>地盤改良工</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>胸壁工</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>陸間工</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>&lt;</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="5">0.8</td> <td colspan="5">5.8</td> <td colspan="5">4.7</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5">8.2</td> <td colspan="5"></td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="5"></td> <td colspan="5">8.2</td> <td colspan="5">5.1</td> <td>13.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胸壁延長(km)</td> <td>0.64</td> <td>0.17</td> <td>27%</td> <td>0.64</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>陸間(基)</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>33%</td> <td>6</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>6.6</td> <td>8.2</td> <td>124%</td> <td>13.3</td> <td>62%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>5.7</td> <td>5.6</td> <td>98%</td> <td>10.4</td> <td>54%</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>0.9</td> <td>2.6</td> <td>289%</td> <td>2.9</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】          基本設計完了、詳細設計（胸壁）一部区間の施工 完了          【事後評価に準ずるフォローアップ】          該当なし</p>			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計	<							<									用地補償									<								工事	地盤改良工						<					<						胸壁工						<					<						陸間工								<					<				事業費(億円)	前回計画	0.8					5.8					4.7					11.3	実績						8.2										8.2	今回計画						8.2					5.1					13.3		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	胸壁延長(km)	0.64	0.17	27%	0.64	27%	陸間(基)	6	2	33%	6	33%	事業費(億円)	6.6	8.2	124%	13.3	62%	工事費	5.7	5.6	98%	10.4	54%	用補費	0.9	2.6	289%	2.9	90%	その他					
			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																																																																																												
工種区分	調査・設計	<							<																																																																																																																																																																																																					
	用地補償									<																																																																																																																																																																																																				
	工事	地盤改良工						<					<																																																																																																																																																																																																	
		胸壁工						<					<																																																																																																																																																																																																	
		陸間工								<					<																																																																																																																																																																																															
事業費(億円)	前回計画	0.8					5.8					4.7					11.3																																																																																																																																																																																													
	実績						8.2										8.2																																																																																																																																																																																													
	今回計画						8.2					5.1					13.3																																																																																																																																																																																													
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																																																										
	計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																																																																									
胸壁延長(km)	0.64	0.17	27%	0.64	27%																																																																																																																																																																																																									
陸間(基)	6	2	33%	6	33%																																																																																																																																																																																																									
事業費(億円)	6.6	8.2	124%	13.3	62%																																																																																																																																																																																																									
工事費	5.7	5.6	98%	10.4	54%																																																																																																																																																																																																									
用補費	0.9	2.6	289%	2.9	90%																																																																																																																																																																																																									
その他																																																																																																																																																																																																														
2) 未着手又は長期化の理由	事業は概ね計画通り進捗しており、計画目標の2027年度に完了する見込みである。																																																																																																																																																																																																													
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】          特になし。          【今後の見込み】          引き続き、地元調整を行いながら円滑に整備を進め、2027年度までの完了を目指していく。</p>																																																																																																																																																																																																													

	判定	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																		
		<p>【理由】</p> <p>補償のため期間を要し、工事施工範囲に限られた時期もあったが、それも解決して事業進捗が見込めるため。</p>																																																		
③事業の効果の変化	1) 貨幣価値化可能な効果（費用対効果分析結果）の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析の算定基礎となった要因変化の有無】</p> <p>変化なし</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>事業評価時 (基準年：2012)</th> <th>再評価時(1回目) (基準年：2018)</th> <th>再評価時(2回目) (基準年：2023)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">費用 (億円)</td> <td>事業費</td> <td>-</td> <td>8.96</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>-</td> <td>0.79</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(C)</td> <td>-</td> <td>9.75</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">効果 (億円)</td> <td>想定浸水区域(高潮)の被害軽減効果</td> <td>-</td> <td>52.80</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>想定浸水区域(津波)の被害軽減効果</td> <td>-</td> <td>22.40</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計(B)</td> <td>-</td> <td>75.20</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(参考) 算定要因</td> <td>胸壁天端高(T.P. 標高)</td> <td>T.P. +2.8m</td> <td>T.P. +4.0m</td> <td>T.P. +4.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果(B/C)</td> <td>-</td> <td>7.7</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したものである。</p> <p>※再評価における費用対効果分析については、愛知県公共事業評価実施要領細則により、原則として、事前評価時(前回評価時)と比べ、その要因(費用等)が3割を超えて変化している場合、または費用対効果分析結果が1未満になる恐れがある場合に実施するものとされており、今回評価では事業費に大きな変化がないので算定していない。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果（費用対効果）分析手法】</p> <p>「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)」(平成16年6月農水省農村振興局・水産庁、国交省河川局・港湾局)により、費用対効果分析を行った。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>費用対効果分析の算定基礎となった要因に大きな変動はない。</p>	区分		事業評価時 (基準年：2012)	再評価時(1回目) (基準年：2018)	再評価時(2回目) (基準年：2023)	備考	費用 (億円)	事業費	-	8.96	-		維持管理費	-	0.79	-		合計(C)	-	9.75	-		効果 (億円)	想定浸水区域(高潮)の被害軽減効果	-	52.80	-		想定浸水区域(津波)の被害軽減効果	-	22.40	-		合計(B)	-	75.20	-		(参考) 算定要因	胸壁天端高(T.P. 標高)	T.P. +2.8m	T.P. +4.0m	T.P. +4.0m		費用対効果分析結果(B/C)		-	7.7	-	
	区分		事業評価時 (基準年：2012)	再評価時(1回目) (基準年：2018)	再評価時(2回目) (基準年：2023)	備考																																														
費用 (億円)	事業費	-	8.96	-																																																
	維持管理費	-	0.79	-																																																
	合計(C)	-	9.75	-																																																
効果 (億円)	想定浸水区域(高潮)の被害軽減効果	-	52.80	-																																																
	想定浸水区域(津波)の被害軽減効果	-	22.40	-																																																
	合計(B)	-	75.20	-																																																
	(参考) 算定要因	胸壁天端高(T.P. 標高)	T.P. +2.8m	T.P. +4.0m	T.P. +4.0m																																															
費用対効果分析結果(B/C)		-	7.7	-																																																
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>該当なし</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>該当なし</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>該当なし</p>																																																			
	判定	<p>A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>																																																		
		<p>【理由】費用対効果分析結果から十分な効果が期待できる。</p>																																																		

Ⅲ 対応方針（案）	
<b>継続</b>	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目）    □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>津波・高潮による被害状況の確認</p>	
Ⅴ 事業評価監視委員会の意見	
篠島漁港海岸の対応方針（案）事業継続を了承する。	
Ⅵ 対応方針	
事業継続	